

2024 年度春期

ワイカト大学語学研修 報告書 (8 名分)

3 週間コース：2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 16 日

5 週間コース：2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 31 日

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 31 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

- ・自分の将来の選択肢を広げるためにこの留学を希望した。
- ・毎日 Duolingo や単語帳で英語に触れるようにしていた。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

- ・自分のいた中級クラスはテキストを進めたり、図書館で本を借りたり、時には外でのアクティビティがあった。
- ・ークラス 20 人弱で、3 週間～6 週間滞在の日本人大学生が大半だったため、交友関係を円滑に広げることができた。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	ホストファザーは消防士で夜勤もある人だったが、顔を合わせることがあればいつも親切にしてくれた。ホストシスターとホストマザーは多忙であまりたくさん話すことはできなかったが、夕食は家族そろって食べることが多く、その時に話すことが多かった。一番上のホストシスターは家を出ていたが、一回帰ってきてくれたため会うことができた。ペットが犬 2 匹と猫 1 匹で癒しの多い環境であった。
食事、健康管理	朝と昼はパンやお米などの炭水化物メインの食事が多かった。私のホームステイ先は朝と昼ごはんは自分で用意する必要があったので、手軽に食べれるものを作ったり、学校のカフェで買うことが多かった。夜ご飯はたんぱく質メインの食事が多く、日々野菜不足だった為、毎日ビタミンのサプリを摂取するようにしていた。紫外線が強く、日焼け止めを塗っていても元の肌の弱さゆえに蕁麻疹がひどかった。学校の薬局で薬を買って対処していた。
持参してよかったもの（理由）	日傘…とにかく紫外線が強いから スリッパ…自宅内で使う用 撥水加工の上着…突然の雨でも濡れない 保湿クリーム…現地は乾燥していたから 物干し…うちは洗濯物を干せるスペースが狭かったから エコバッグ…買い物に行くとき袋が優良なことが多い

	米…日本食が恋しくなったときに食べていた 薬剤証明書…現地の医者や薬剤師に見せることで適切な薬を処方してもらえる。 パソコン…書類の提出がしやすい
危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	知らない人にはついていかない、夜道は極力一人で出歩かない 複数人で飲みに行く

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	203500 円	
海外旅行保険	12987 円	
研修費用	509105 円 10000 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。 ←NZeTA
滞在費	15450 円	初日のホテル代
食費	30000 円	朝昼自炊だった為
交通費	10000 円	
その他（小遣い，通信費など）	40000 円 35000 円 3500 円 40000 円	現地ツアーなど旅費 通信費（データローミング） 薬代 お土産代
合計	約 910000 円	

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して，その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

高校の同級生が偶然同じタイミングでニュージーランドに留学していて、5週間で3回もオークランドを案内してもらった。ハミルトンはのどかな田舎で緑の多い地域だが、オークランドは対照的で海もあり、とても都会だった為ハミルトンとはまた別の新鮮さがあった。このオークランド訪問は電車が最安なので、毎回電車で行っていたのだが、3回とも同じ電車に乗っていた現地の人と仲良くなり、たくさん現地情報をもらえたなどの交流もあり、とても良い体験になった

た。

また、ホストファミリーに日本のカレーをふるまった際、ホストマザーがとても気に入ってくれていたのが嬉しかった。日本に帰ったら、カレーのルウを送ってあげたい。

クラスメイトがいい人たちばかりで、毎日がとても楽しかった。困ったら助け合い、が当たり前で、先に滞在しているメンバーが率先して助けてくれた。放課後遊びに行ったり、土日と一緒に出掛けたりなど、新しい交友関係を広げることができた。日本に戻った後も交友を続けたいくらい大切な人たちである。

自分は5週間で担任が2回変わったが、3人とも素敵な先生で、授業は全員内容が違うがどれも楽しく忘れられない思い出、学習になった。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

もし、少しでも興味があるのであればぜひ参加してみてください。英語に自信なくても案外何とかなるので大丈夫です、できればリスニングかスピーキングのどちらかは練習しておいた方が良いでしょう…。素敵な国で、英語に触れながら、異文化や新たな友好関係に触れることもできます！私は、今回の留学が人生で一番の思い出です。できれば、5週間の滞在がおすすめです！観光も、英語の学習も、すべての面を考慮すると5週間がちょうどいいなってなります。

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 15 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

自分は教育学部に所属しており将来英語の教員になりたいと思っているため、一度海外で英語だけの生活をして、実践的な英語力を身に付けたいと思い申し込みました。（真面目な理由はこれですが、単純に海外に行ってみたかったのも大きいです！！海外行けるのは大学生のうちだけ！！）最初は自分で外部の留学エージェントを使おうかとも思いましたが、他の三重大生のいる安心感と JASSO の給付奨学金が出るのも、ワイカト研修を選んだ大きな決め手になりました。

海外どころか飛行機も初めてで分からないことだらけでしたが、オリエンテーションごとに国際交流センターの竹内さんと正路先生が丁寧なパワーポで説明してくださり、それのおかげで大きなトラブル等なく進めることができました。特に自分はやらなければいけないことを忘れることが多く、竹内さんに大変迷惑をかけてしまったと思いますが（本当にすみません）、こまめにメールで連絡してくださってとても助かりましたありがとうございます！！

単語いっぱい勉強してボキャブラリー増やしていくぞ！！と意気込んでいましたが、結局特に何も対策せずにフライトを迎えました。ボキャブラリーは増やしておけばよかったと感じたので少し心残りです。唯一やったことと言えば、洋楽を聞いたり映画は字幕版にして、リアルな英語に慣れるようにしていました。

本当に分からないことだらけだったので、留学経験者の友だちや前回のワイカト研修に行った先輩にたくさん聞いて助けてもらいました。経験者の言うことが一番参考になるので、こういった報告書含め積極的に活用することをおすすめします！

おこがましいですが、オリエンテーションで前回の人たちの報告書を見せたり、直接アドバイスできる機会が増えると不安解消になるかと思いました！

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

「平日は毎日ワイカト大学に通って授業を受ける。遊びに出かけるのは放課後と土日」とい

うのが基本的なイメージです。時間割的には大きく午前の部と午後の部で分かれており、朝 9 時に授業が始まり 12 時から 1 時間のランチ休憩を挟んで、夕方 3 時に授業が終わりま
す。午前午後ともに、1 時間半たつと 15 分の小休憩がありました。ただし金曜日だけは午
前だけで授業が終わります。

授業といっても堅苦しい講義のようではなく、グループやペアで色々なアクティビティを行
うので楽しく受けることができます。もちろんですが授業は全部英語、日本人と話すときも
授業内は英語で話していました。

日本で受けるテストでコース分けとクラス分けがされますが、よほどペラペラじゃない限り
日本人はみんな下の General English コースになります。実際どのクラスも基本全員日本人
でした。そしてその中で中級・準中級・初級にクラス分けされますが、級ごとでも上下があ
ったりと割と細かく分けられます。クラスのレベルは申請すれば上げたり下げたり出来るよ
うですが、申請から適応まで 1 週間かかるらしく、それならずっと同じクラスでみんなや先
生と仲を深めた方が実りのあるものになると個人的には思いました！

授業の進め方や雰囲気づくりは、クラスのレベル関係なく先生によって全く違います。自分
は帰国等人の入れ替えのため、最初の 1 週間と残りの 2 週間で先生とクラスメイトがかわり
ました。最初の先生は放任主義でしたが、2 人目の先生はよりためになる英語と授業づく
り、仲良くなりやすいようにと工夫してくれた印象があり、満足感が全くもって違いまし
た！共通していることと言えば一人一冊テキストとノートがあることですが、テキスト中心
で進んでいく先生もいれば、文法事項など内容はテキストに沿っていてもオリジナルのプリ
ントやアクティビティで進める先生もいます。

他の日本人学生も三重大大学のように複数人できているため、同じ大学ごとで固まってしまっ
ている印象が強かったです。東京・大阪・京都・愛知はもちろん、北海道・宮崎など色々な
ところから来ていました。とは言えクラスはみんなバラバラなことが多いため、グループ・
ペアワークが多いクラスだったり、自分から積極的に話しかけたりすれば日本人の友だちも
たくさんできると思います！

授業外のアクティビティと言えば、火曜の授業後 15 時から English Club という、ワイカト
大学の現地の学生と英語で交流する機会があります。日本人のワイカト大学生もたくさんい
ました。自分はここで仲良くなった現地の学生とドライブの後ハンバーガーを食べに行きま
した！

また、金曜の 15 時からは Sport Day とって体育館を無料で使うことができ、現地の学生や
他の留学生たちとバスケやバレー、テニスで遊ぶことができます。午前だけで授業が終わる
ので参加している学生も多かったです。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	自分はおじいちゃんと犬との平和な3人暮らしでした。奥さんや息子さんの家族はそれぞれ違う国や地域に住んでいるようで会えませんが、ホストファザーの友だちが遊びに来たり、彼らと一緒に出かけたりしてたくさん交流ができました。ルームメイトもいなかった所以家ではファザーと2人で会話や生活に集中することができ、賑やかではなかったですがとても良い生活だったと感じます！ 基本的に自主性を大事にしてくれて、食べたいものは好きなように食べていいし、スケジュールも前もって連絡しておけば自由にさせてくれました。かと言ってほったらかしなわけでもなく、ランチは毎日作って持たせてくれたし、はじめてバスで大学に行く時は一緒にバス停まで歩いてくれたりと、十分すぎるくらいサポートしてくれました。英語についても、自分が分からない時は分かりやすく言い換えてくれたり、積極的に話してくれました。 犬もとてもかわいく、毎日家に帰ると玄関まで走って出迎えにきてくれました。 最初から最後まで暖かく優しく接してくれて、本当に大好きなホストファミリーでした！
食事、健康管理	食事は朝はホストファミリーの家にあるものを使って自由に食べさせてもらいました。NZでは朝は基本的にシリアルだけでした！昼はホストファミリーが作って持たせてくれたものを食べていました。自分はサンドウィッチ、パスタ、カレー、ステーキなどおいしいものをたくさん持たせてもらったので感謝しかないです！しかし昼はホストファミリーごとに大きな違いがあり、自分で作って持ってきていた子もいました。夜は基本的にホストファミリーの家で出してもらいものを食べていましたが、友だちと食べに行くことも多かったです。 NZの食事は日本の献立といったものではなく、基本的にメインディッシュ一品（たまに付け合わせも）だけです。しかしどれも高カロリーのものが多いので健康面を気にする人は自分で野菜を取ったりすると思います。

持参してよかったもの (理由)	昼は暑いので半袖一枚で過ごしていましたが、朝晩は秋くらい寒いのでパーカーなど上着を持っていると体温調節しやすかったです。 自分は普段使っているシャンプーやボディーソープなど持って行ったのですが、その際帰りに荷物がかさばらないようにするため、百均のボトルに詰め替えて現地で捨てて帰れるようにしたのはとても良かったかと思いました。
危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	海外は盗難が怖かったので、百均で南京錠やダイヤルロックを買ってカバンのチャックにつけていました。しかしバスは学生や日本人が多かったし治安も海外にしてはとても良かったので、空港や飛行機内ほど気にする必要はないかと思いました！ 少し怖いと思った出来事としては、city に遊びにいった少し裏路地のようなところに近いお店に入った際、あまり身なりの良くない人にお金をたかられたので city に行く際は裏路地には気を付けた方がいいと思いました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	165,900 円	
海外旅行保険	9,130 円	
研修費用	387,505 円 0 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	約 30,000 円	外食代
交通費	約 12,000 円	通学、観光バス代
その他（小遣い、通信費など）	約 80,000 円	ビザ、esim、お土産、観光地代
合計		約 864,535 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

クラスみんなとレストランでディナーをしたことです！自分はすでに仲のいいクラスに途中か

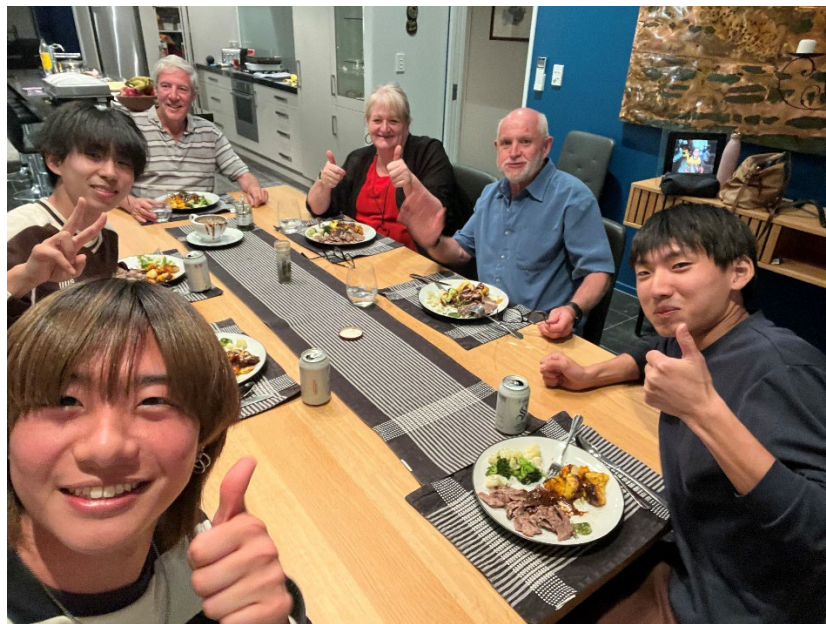
らはいつてきた身だったので残り二週間馴染めるか不安でしたが、このクラス会で一気に仲良くなれたと思います。普段学校だけだと話す機会も限られていたので、より踏み込んで楽しく話すことができました！



日本に帰る子たちがいる週の金曜日に、クラスみんなでパーティーをして遊んだことです！普段席が遠くてあまり話せない子たちとも話せたりして一気に仲良くなれました！自分が帰る時のパーティーでは最後の時間をおかみしめることができ、NZに来てみんなと出会えてよかったと心から思いました。



ホストファミリーと三重大の友だちとホストファミリーの友だち夫婦とラム肉ディナーをしたことです！自分がラム肉食べたことないからチャレンジしてみたいとホストファミリーと話していたら、次の日にラムの足をまるまる一本買ってきてくれて、みんな招待して一緒に食べようと言ってくれました。普段のディナーがホストと2人なことあって、大人数でわいわい食事をするのがとても楽しかったし、とてもいい英会話の機会にもなったと思います。



2週目の土曜日に電車を使ってオークランドまで遊びに行ったことです！1日いましたが、お昼に食べに行ったムール貝が有名な店が信じられないくらいおいしかったです！雰囲気も抜群なのでみんな行くことをおすすめします！



★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

自分にとってこの研修は、本当に一生の思い出になった最高の留学体験でした！最初の方は英語についても生活のことについても不安な思いがたくさんあるかもしれませんが、楽しむことを第一に考えていればリラックスしてうまくいくようになります！アクションは全部自分から起こすこと！話しかける、英語で話してみる、いろんな場所に行ってみるなど全部自分から行動しないと意味がないし何も始まりません。3週間は長いようであっという間に過ぎていきました。日本に帰りたくない、NZにまだいたい！と思えるように存分に楽しんで学んでください！！

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 15 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）
 - ・留学に行きたいと思った
2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）
 - ・教科書を使った学習、プレゼンテーション、
3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	father と mother に加えて、その夫婦の娘、その娘の子供の四人家族だった。
食事、健康管理	朝ご飯はシリアル、昼ご飯は夕食の残りを詰めたものかサンドイッチ 毎日、ホストファミリーが作ってくれた夜ご飯を食べた。 毎日よく寝ていたので体調管理は大丈夫でした。
持参してよかったもの（理由）	痛み止め サイクリングに行ったときに、筋肉痛で寝れなかったため
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	公共の場などでは、目に見えるところにカバンを置いておく

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	190.000 円	
海外旅行保険	20.000 円	
研修費用	400.000 円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。
滞在費	100.000 円	ホームステイ
食費	50.000 円	あまり外食しなかった 海外でしか食べられないものは積極的に食べた
交通費	10.000 円	バスや電車に乗るために使った
その他（小遣い、通信費など）	100.000 円	
合計		87万円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して、その様子の説明をご記入ください*ここに貼り付けなくても OK です)



全体を通しての思い出は、ニュージーランドで海外の生活をしたことです。日本の文化とは違う文化の中で生活を送れたということが、違う価値観を持つことにつながり私の人生に大きな影響を与えたと感じています。

左の画像は、私が通った通学路の一部です。自然に囲まれた通学路は新鮮で毎日の通学を楽しみにしていた要因の一つです。また、ニュージーランドの高校生が多く乗っているバスに乗って登校していたことも良い思い出でした。

真ん中の画像は、**Mount Maunganui** という場所にホストファミリーといき、山に登った時に撮った写真です。ニュージーランドの壮大な自然を見たかったわたしにとって最高の場所であり、目的地までの道中でホストファミリーとたくさん話をしたり、自然を見ながら音楽を聴いたりしたことが最高の思い出です。

右の画像は、**raglan** という場所に連れて行ってもらった時の写真です。この日は私の誕生日で、ホストファミリーとその孫たちと一緒にフィッシュアンドチップスを食べ、この海が見える場所で用意してくれていたバースデーケーキを食べたことが最高の思い出です。同年代の孫たちと仲良くなることもできました。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

最初に、行くか行かないか様々な理由で迷っている人には「絶対に行け！！」と言いたいです。私の場合、行く直前になっていろんな不安が出てきて、正直行きたくないかと思った時もありました。しかし、現地に着いて海外のものを見たり、ホストファミリーとたくさんの会話を重ね日々を送ったりと日本では送ることができない生活を送ったことで、今では人生最高の思い出とっていいほどの経験をする事ができ、行ってよかった！！と心の底から思っています。

(最終日にニュージーランドが楽しすぎて日本に帰りたくなくて号泣したほどです)

なので、ぜひ参加してほしいと思います！！

また、様々なことで不安に感じてしまう時があると思いますが国際交流チームの先生方の支えや、一緒に研修に参加する三重大生の支えが絶対にあるので大丈夫です！困った時はいつでも相談に乗ってくれると思います。

私は、この研修で様々なことを学びました。そして私の人生観を大きく変えることができたと思っています。国際交流チームのみなさんはもちろん、ホストファミリー、研修を通してできた友達、私の家族などさまざまな人の協力があつたからできたことだと深く感謝しています。この度はありがとうございました。

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 31 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

応募動機は、留学することで実際にネイティブの人と話し自身の英語力を向上させたかったことと、異文化に触れることで多文化について知り多角的な視野を身に付けることができると思ったからです。申し込み手続きとしては、まずは申し込みメール、同意書提出、ガイダンスへの参加、プレイスメントテスト受講、保険の加入、大学への留学申請などです。本格的な語学対策といったものは特にしていませんが、プレイスメントテストのために少し勉強したのと、日常的に使用できるような英語フレーズなどは事前に調べてみました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

私は中級クラスでしたが、2 回先生が変わって、3 人の先生に担当していただきました。1 人目の先生は 3 週間担当していただき、午前中は教科書中心で宿題もそこから出す。午後は教科書の続きや会話の練習、図書館に行く、外でのアクティビティなどといった流れでした。2 人目は 1 週間担当していただき、あまり教科書はせず会話中心でした。ゲームなども多く書く・読むというよりは圧倒的に話す時間が長かったです。3 人目の先生は最後の 1 週間担当していただきました。最後は中級クラスとその上のクラスが一緒になりました。この先生もかなり会話のアクティビティが多かったです。一度だけ課題が出されました。クラスや先生によって授業内容は変わるみたいです。クラスは 1 週間ごとに新しい生徒が加わったり減ったりしていったので、金曜日の授業は大体お別れパーティーをしていました。ほとんどの生徒が日本人でしたが 1 名の韓国人の方が最初から最後まで同じクラスにおり、よく一緒に英語で話していました。最後の方では韓国人 2 名、中国・ブラジル・ベトナム出身の方が各 1 名ずついらっしゃいました。私たちのクラスは非常にやる気のある人が多くみんなフレンドリーで仲良しでした。私は一部のやる気のある生徒と共に休み時間も英語で話したり、中国・韓国出身の方と積極的に会話して英語を使う状況を作り出したりと自分なりに英語能力を高められるように工夫をしてみたりしていました。クラスメイトとインスタを交換したりしていたので帰国してもなお連絡をとることができています。関西大学、金沢大学、千葉大学、北見工業大学、福井大学などなど様々な場所から研修に来ていることに驚きました。パソコンは持っていきましたが、特に授業で使うことはありませんでした。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	正直に書いて申し訳ないですが、期待外れではありました。他の
--------------	-------------------------------

	ファミリーと比べることは良くないかもしれませんが、朝食・昼食は自分で用意するように言われていながら冷蔵庫に食料が全然ないことや、休日などにどこかに連れて行ってくれることがなかったということが少し残念であると感じました。また、食事中にテレビを見ていることが多く話しかけるタイミングが非常に難しかったです。その他様々なことがあって少し居心地が悪かったです。しかし、全てが悪かったというわけではなく、毎日話しかけてくれるなどあちらの方なりに向き合おうとしてくれていることは伝わってきました。また、ニュージーランドの人々のリアルな生活に立ち会えたような感じで良い経験になったと思います。休日は自分で予定を立てて遊びに行っていました。先にニュージーランドに着いている子たちにおすすめの場所を聞き込んで行ってみるということが多かったです。
食事、健康管理	お肉とジャガイモが多めだったイメージです。一応、胃腸薬とビタミン剤は持参して毎日飲みました。朝と昼は自由にお店で買って食べていたのですが、食べ過ぎに気を付けました。ファミリーが早寝だったので、私も毎晩 22:00 ごろには寝て、5:40~6:00 ぐらいに起きていました。おかげで授業中に眠くなることは少なかったです。朝晩は特に冷え、朝晩と昼の寒暖差はとんでもなかったのも最初は慣れませんでした。
持参してよかったもの (理由)	・クレジットカード：ほとんどの場所でカード決済できる ・スリッパ：室内は基本土足だけど靴で自室を歩きたくないので持って行って良かった ・小さめの水筒：お水などは店で買うと高いので、家の水を水筒やペットボトルに入れて持ち運んでいました。 ・洗濯ネット：洗濯物をまとめられて便利 ・上着：昼は暑いので荷物にならない軽めのものがおすすめ ・日焼け止め：必須 ・サングラス：日差しが強くて目が痛くなるのであるとよい ・帽子：あると熱さの軽減になる
危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	比較的安全だと思っていたので特に何かしていたというのはいません。危険を感じたこともありませんでした。しかし、クラスの子の話では、夜に出歩くのが危険だということだったので夜は外に出ていません。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	203,400 円	
海外旅行保険	10,140 円	
研修費用	509,105 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	約 55,000 円	
交通費	16,030 円	バス
その他（小遣い，通信費など）	約 70,000 円	お土産など お土産：約 42,000 その他：アクティビティや生活用品など
その他	約 40,000 円	Wi-Fi 30,000 円 ニュージーランド入国 約 10,000 円
合計	約 903,675 円	

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です)



←「Duck Island Ice cream」

とてもおいしいアイスクリーム屋さん

週1ぐらいで通いました。様々なフレーバーのアイスが楽しめてどれもすごくおいしい！私のお気に入りにはブルーベリーチーズケーキでした。



←ラグビーの試合

初めて試合観戦をしました！迫力満点で非常に面白かったです。

一緒に観戦していた人に見やすい席を譲ってもらうなど、現地の人への優しさにも触れる機会となり良い思い出になりました。

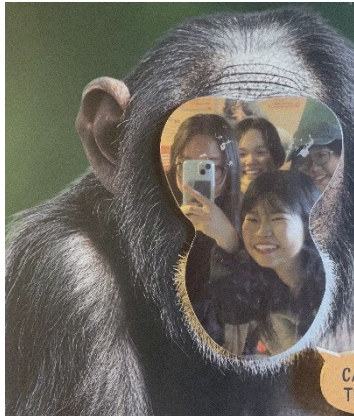


美味しい食べ物



外食に1番お金を使いました。とにかく現地の食事を堪能したかったので食べたいものを

見つけてはひたすら食べてみるという感じでした。でも店に行くまでに沢山歩いたり移動したりしていたからかあんまり体重は増えていませんでした！ラッキー！



←ハミルトン動物園

ハミルトンガーデン→



←タピオカジュースの店「Fulu Cut」

他校の友達に教えてもらいました。

何回も通って割引されるまでスタンプカードを溜めました。

タロイモミルクを3回も飲みました。

お店の人に覚えられていた自信があります！最後の日にはお別れを伝えて店を出ました。また行きたいです。

↓ Waka Ama マオリの伝統的なカヌーみたいなやつ。



↓ 気球のイベント





韓国人のクラスメイトと、その方と同じ寮に住んでいるルームメイトと一緒に遊びに行きました。

英語の練習になって良かったし、盛り上がっていて楽しかったです。たまたま同じクラスの子たちも遊びに来ていたので一緒に写真を撮りました。



撮りました。

「オトロハンガ」というところにある「キーウィハウス」にニュージーランドで有名な飛べない鳥キーウィを見に行きました。薄暗かったですがかなり近い距離で見ることができたので大満足です。



←English Club

私たち以外に来ていたのが全員中国人でしたが英語で楽しくお話しすることができました。

↓先生と仲良くなった金沢大学の友達



↓クラスのメンバー





5 週間お世話になったホストファミリーの
皆さんとペットたち



機内食が多すぎて結構苦しかったけどとても美味しかったです。ただ、空港で食べ過ぎると本当にきついので空腹の状態で飛行機に乗ることをお勧めします(笑)

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

多くの人と出会い、様々な体験をして自分を高めることができる良い機会です。もちろん楽しいことだけではなく辛いこともあるかもしれませんが、そういったときでもあきらめずに自分なりに楽しもうとすることが大切です。また、クラスメイトと友好関係を深めることや現地でのイベントに参加することでコミュニティが広がり新たな出会いや発見を得られると思います。自分から進んでチャレンジしてみてください。今後参加する方が有意義な時間を過ごせるこ

とを願っています。

・その他

これは余談ですが、日本人と一緒にホストファミリーになりたくないよという人は最初にするアンケートで「ダブルプレイメントでもよい」にしないほうがいいです。日本人と組まれてしまって他の国の留学生と同じになるわけではなさそうなので、、、。ちなみに私は一緒になった先輩と性格が合わず苦労しました。そういうこともあります。

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 31 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

＜応募動機＞私は今まで留学をしたことがなく、一回はしてみたいなと思っていたので、応募しました。

＜申し込み手続き＞申し込み手続きはかなり、ややこしく感じました。留学前の手続きの Gmail はかなり頻繁に来るので、常に Gmail は確認することが大事だと思います。分からないことがあれば、ためらわず、先生方に聞く方がいいと思います。

＜語学対策＞語学対策はあまりしていませんでした。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業内容は英語力別に分けられるので、英語力であまり困難には感じなかったです。先生によって教え方はかなり変わりますが、私の担当していただいた先生はグループで話し合いする機会が多かったです。間違ってもいいから、たくさん英語を話すことに重きを置いていた先生なので、恥ずかしがらずに、たくさん発言できていい環境だなと思いました。

クラスは日本出身の学生が多いですが、様々な都道府県からの学生なので、いい交流ができたと思います。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	私のホストファミリーは母親、姉妹 3 人、フランスから来た留学生でした。 姉妹はとても英語を話すスピードが速かったので、何を言っているかが、全く分からないことも多かったです。 ホストマザーの兄弟の家族が来たり、ホストマザーの祖母が来たりと、家に人が多い状態もあれば、ホストマザーだけの日もあり、毎日が新鮮でした。
食事、健康管理	私のホームステイ先は野菜が頻繁に出ましたが、野菜が出ない家庭も多いようです。揚げ物が多いため、食生活は日本と同じようにキープするのは難しいなと私は思います。ですが、カロリーは高そうですが、ニュージーランドの食べ物は美味しいものばかりなので、そこはよかったなと思います。
持参してよかったもの（理由）	ティッシュ、除菌シートはたくさん持っていきべきだと思いました。 あと日本の代表的なキャラクターのシールはホストファミリーにかなり人気だったので、子供のいるホストファミリーの家の方はおすすめです。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	前に来る肩掛け鞆を持っていきました。 ニュージーランドは治安が良いと言われていますが、近くで殺人事件が起きたり、泥棒が入って iPat が盗まれたという話も身近な人で聞いたのでかなり気を付けなければならないと思います。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	203,400 円	私は台湾とオーストラリアを経由して、ニュージーランドに向かいました。
海外旅行保険	9,140 円	
研修費用	509,105 円 0 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	5750 円	ニュージーランドに到着して、最初の日にホテルに宿泊したため、ホテル代がかかりました。
食費	約 30000 円	ニュージーランドの食費は高いです。しかし、高い分量も多いので、注意が必要です。
交通費	5256 円	基本的に beecard というカードを使ってバスで移送しましたが、学割が効くまで 1 週間ほどかかるので、もし Beecard を使いたいなら、学割の申請は早めに申請すべきだと思います。
その他（小遣い，通信費など）	2970 円	海外で wifi を使うために、ahamo の sim の契約をしました。しかし、ahamo の海外で使える wifi は海外に着いてから 2 週間経つと低速に変わるため、低速で使いたくない方は他の海外 wifi が使える sim にすべきだと思います。
お土産など	約 30000 円	
合計		792657 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

ニュージーランドは日本のご飯とは全然違いますが、おいしい物がいっぱいあります。

学内にある TANK というお店の野菜はとてもおいしいです！（ニュージーランドに行ってから、あまり野菜を食べてないので、野菜を取りたい方はおすすめです。）



また大学から少し歩いた場所に **duck island** というアイスクリーム屋がありますが、そのアイスクリームはとてもフレーバーが多く、おいしいので、おすすめです。



★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

英語力の向上というよりは、文化を知ることや、英語力を高めたいという気持ちを持てるいい機会だと思いました。

私はフランスから来た留学生と同じホームステイ先で、ニュージーランドの現地の方の生活だけでなく、フランスのこともたくさん学べました。

文化の違いは昔学校で勉強したことと、実際体験することでは捉え方も全然違うので、文化の違いを知れたという面でも留学できてよかったなと思います。

ホストファミリーは人によって全く違うので、どんなホストファミリーの家に住みたいのか希望があるなら、ワイカトカレッジ申込書を書く際に、希望を詳しく書く必要があると思います。

日本が恋しく思う日もありましたが、留学は人として成長できると思うので、おすすめです！

頑張ってください！！

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 月 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

応募動機…海外に興味があったこと、比較的安く、滞在の期間がちょうどよかったこと、補助金が出ること、の3点から参加することを決めました。

申込み手続き…手続きをできる限り迅速に行うように心がけましょう。私は「後でやろう」や「時間がある時に確認しよう」がたたって期限が迫ってあわあわすることが何回かありました。

語学対策…特に行っていません。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

私は初級クラスの「Elementary B」クラスで授業を受けました。基本は教科書に従って、その内容を学ぶ授業でした（このときはマーケットや祭りなど様々なトピックを扱った）。しかし、先生によってその進め方は多岐にわたると思います。現に私は2週間で先生が変わりましたが、その先生は午前中は教科書の内容を行い、午後からは教室の外でクリケットや宝探しなどといったアクティビティをするというような授業を行っていたからです。

授業形態は日本とそこまで大きく変わるわけではありませんでした。しかし、異なっている点もいくつかあり、まずクラス全体の人数が20人前後で、席が4～5人の班形態になっていることが挙げられます。授業では何度も周囲で話合うことが求められるのでそれがやりやすいようにしてあるのでしょう。そして、授業中に教師が生徒に対して問いかけることがありますが、これは答えを求めています。日本では授業中の私語はあまり良いこととされていないと思いますが、NZでは逆につぶやきのような形でも最悪良いので行った方が教師は進めやすいと感じるでしょう。

学生同士の交流については、同じクラスの人とのものが主になると思います。春季に参加するとクラスメイトの多く、というかほぼ全員は日本人になると考えても良いでしょう。ただ、現地の学生との交流の機会ももちろんあり、木曜の放課後はEnglish classがあり、ワイカト大学の学生と英語で話すことを通じて交流することが可能です。それ以外にも、向こうから話かけてくることもあるかもしれませんね（私もバス待ちをしている最中に話しかけられました）。

アクティビティに関して、春季に行くとちょうど新学期の時期なので、クラブの新歓の時期でもあります。行って1～2週間はそれを感じることができました。お昼の時間は向こうの

学生が無料でポテトやホットドッグを配布していたので、お昼はお楽しみの時間でもありました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	とても優しいです。私たちと話すときは英語を話すスピードを落として、簡単な英語を使うように配慮してくれていました。 本プログラムでは自室が確保されているのですが、私が滞在時に使用していた部屋は、下手したら自分の下宿先よりも良いかもしれないと思うような広さと収納スペースがありました。 辛かったこととしてはトイレにウォシュレットがないことですかね。さらに流すのもレバーではなくボタンでした。このボタンが厄介でどういう仕組みになっているか、ついぞ説明することはできませんでした。
食事、健康管理	食事は特に問題がありませんでした。朝は毎日「Weet-Bix」というコーンフレークを3Dプレーヤーくらいの大きさに固めたものを牛乳でふやかして、砂糖で味を調えて食べていました。お昼はホストファミリーが前日から用意してくれたものをランチボックスに詰めて食べていました。ほとんどハンバーガー（パティの中にベーコンと目玉焼きをはさんである）でした。夜はホストファミリーが作ってくれた料理を食べていました。私のホストファミリーがスリランカ出身ということもあり、夜はタイ米が必ず出ました。もし苦手だと思うものや口に合わないと思うものが出たら、それをホストファミリーに隠さずに伝えたら配慮してもらえました。しかし、出されたものは基本何でも食べていました。 健康管理で特にしていたことはありません。しいて言うなら外から帰ってきた後は手洗い・うがいをしていた、ということくらいでしょうか。
持参してよかったもの （理由）	海外対応のタコ足配線。 私はわざわざ電気屋さんに行って、国内・海外料対応の物を新しく購入したのでNZでも問題なく使えたのですが、行った子の一人が「日本から持参したタコ足配線がショートしそうで使えなかった」と言っていました。コンセントの変換器を1つしか持って行かなかったので、タコ足配線はかなり重宝しました。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつ	危険な目に合わないようには気を付けていたことは特にありません。 危険を感じたことは、友人との買い物中、ベンチに座っていたところ、熊のように大きな体の男に「money」と手を差し出されたこと

けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	です。少しでも「怖い」、「危険だ」と感じたらその場からすぐに立ち去るようにした方が良いと思います。
-------------------------------	--

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	円	
海外旅行保険	円	
研修費用	円 0 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	円	
交通費	円	
その他（小遣い，通信費など）	約 10 万円	NZ で使ったお金の合計額
合計		約 85 万円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して，その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

これが私のベストショット in NZ です。20:01 に Hamilton Lake で撮影しました。

ホストファミリーの仕事が早く終わるということでここに連れてきてもらいました。私が唯一ホストファミリーと一緒に訪れた場所でもあります。NZ は昼が長く、なかなか日が落ちません。そんな NZ の夕焼け時に連れてきてもらいました。ホストファミリー宅には私ともう一人ホームステイしていた男の子がいたのですが、彼と一緒に湖の周りを回っていました。なかなか写真を撮らない私ですが、この景色を見た瞬間に「残しておきたい！」と思うぐらい幻想的で美しい景色でした。周囲を回って 40 分くらい、湖の半分も行かないうちに周囲が暗くなり始めて、これ以上は危ないからと帰宅することになりました。このときは時間がある内にきて周囲を全部回ってやろう！と思っていましたが、結局それは果たせませんでしたね…。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

ぜひ参加してください！価値観ががらりと変わります。新鮮な体験はここまで良いものなのか、とハッとするような気分になれるかと思います。3 週間は本当に、本っっっっっ当に短いので、できれば 5 週間にしてみてもいいかなと思います。

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 30 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）
英語教育コースに所属しているため語学力の向上と海外経験を積むために参加しました。申し込みの手続きは正直大変でした。友達とお互いに確認しながらすることをお勧めします。特に語学対策はしていなかったです。英単語帳を見直したり基本的な会話表現、お店で使える表現などは勉強したりすると良かったと思います。
2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）
平日は9時から15時まで授業です。細かくクラス分けがされていて自分にあったところで学べます。申請すれば変更もできます。宿題は先生によりますがそこまで多くないと思います。授業内容は基本的に教科書を使いますがたくさんゲーム、アクティビティをしてくれるので楽しく受けれると思います。8、9割に日本人しかいないので一緒に昼ご飯を食べたり話したりすることですぐに学生同士で仲良くなれます。ただ現地の学生とはなかなか知り合う機会がないので自分から話しかけるしかありません。イングリッシュクラブという現地の学生がボランティアで行ってくれている活動が毎週あるのでそれに参加するのも良いと思います。土日は休みで自由です。ホストファミリーと出かける、友達とツアーに行く、買い物をしに行くなどなんでもできます。バスを使えば市内はかなり自由に行動できます。
3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	ホストファミリーがバスではいけないようなところに車で連れて行ってくれるのでどこか行きたいところがあれば頼んでみるといいと思います。またホストファミリーとの連絡手段をしっかりと確保すると良いです。ホストファミリーの会話はとても早いので分からない時やゆっくり話してほしい時は必ず伝えましょう。分からないことはとにかく聞きましょう。犬を買っているおうちが多い印象です。
食事、健康管理	朝ご飯はシリアル、フルーツ。昼ご飯は自分で毎日サンドイッチを作っていました。夜ご飯は18時～19時くらいでした。10時以降は静かにするように言われました。ご飯はタイ米しかないのですがどうしても欲しい人は持参すると良いと思います。花粉症もちですが特に花粉は気にならなかったです。
持参してよかったもの（理由）	サングラス、日焼け止め（日差しが強いです）かるい上着（朝夕は寒いので調整できるように）お土産（ホストが喜んでくれます）モバイルバッテリー（必須）クレカ
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	海外なので財布、携帯は肌身離さず持っていましたが特に危険だと感じたことはなかったです。一応財布は二つに分けていました。ただ夜は一人で歩かないようにしていました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	218,950 円	
海外旅行保険	15000 円	
研修費用	509000 円 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	30000 円	レストランにたくさん行きました。
交通費	25000 円	普段のバス代と観光時のバス代
その他（小遣い，通信費など）	100000 円	お土産、観光費用
準備費用	30000 円	スーツケースや変換機など
合計		840000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して，その様子の説明をご記入ください*ここに貼り付けなくても OK です）

休日にたくさん出かけました。自分はワイトモケイブ、ロトルア、オークランド、オトロハンガなどに行きました。ワイトモケイブは本当にきれいな洞窟なのでぜひ行ってみたいですね。ロトルアは温泉が湧き出ている町で羊のショーも見れます。羊、鹿、アルパカ、リヤマなどに餌やりもできます。オークランドはニュージーランド一番の大都市です。**The Occidental** というお店がムール貝で有名です。牡蠣が好きな人は気に入ると思うのでぜひ。ハミルトンは気球で有名で気球のお祭りがあります。とても朝早いですが数十個のバルーンが空にある景色はとても綺麗でした。ニュージーランドの方はみな優しくつたない英語で話しかけても理解してくれようとしてくれます。お勧めの場所を聞いたり、道を尋ねたりして積極的に話しかけると良いと思います。自分は話しかけた人の一人は仲良くしてくれてたくさんお話してくれました。いろいろな国出身の人がいるので食べ物も様々です。自分はフィリピン出身の人にご飯を食べさせてもらいバーベキューもしました。フィリピンでは辛いものをよく食べるそうで自分は知らずにチリペッパーを食べ悶絶しました。いろいろな国の食事を食べてみるのも良い思い出になると思います。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

自分は初めての海外でしたが初めてがニュージーランドで良かったと思っています。ニュージーランドは多民族国家で本当にいろんな人がいます。日本ではできない経験がたくさんできるので本当におすすめです。悩んでいる方は勇気を出して参加してみてください。

ワイカト大学春期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	2025 年 2 月 21 日～2025 年 3 月 15 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

大学でやりたいことの一つに留学があったため今回応募しました。パスポートの用意や旅行保険の加入など様々な手続きがありましたが、わからないことがあっても担当の方に丁寧に、時にフランクに教えてもらえます。こまめにリマインドもしてもらえるので安心して手続きができました。語学対策は出発前の最後の週に単語帳を見たくらいで、英語力はないに等しい状態でしたが、これについてものすごく後悔しました。英語力はなくても会話は楽しめますが会話の笑いどころやニュアンスの面白さの理解に時間がかかるので、ちょっと寂しい気持ちになります。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業は 9 時～15 時で 12 時から 1 時間ランチタイムがあります。私が受けてきたクラスでは午前中に 15 分の休憩がありました。英語力によって 5, 6 段階程度クラス分けがされますがほぼ全員日本人です。留学生が帰ったり来たりと入れ違い、クラスもよく変わったので色々な大学の人と交流することができます。休憩時間にニュージーランドのお菓子を分けたり、他の生徒の高い英語力に刺激を受けたりと充実した生活を送ることができました。教科書を中心に勉強しますが、会話ゲームやボードゲームなど楽しんで学ぶタイプのものも組み込まれており、英語を使う力がつくよう工夫されています。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	私のホストファミリーは両親、女の子二人の四人家族で、日本人留学生が先にホームステイを始めていました。本当に優しい家族で、私たちを気遣ってゆっくり話してくれていました。子どもたちがまだ小さいため、一緒にプールで遊んだり折り紙で遊んだり、週末には近くの農場や公園に行ったりしました。温かく迎えてもらった分、別れる時が本当に辛く思わずないてしまいました。ホストマザーが活発な人で毎週末ワイカトのいろいろな名所に連れて行ってもらえました。私は出かけることが多かったのですが、その際快く送り迎えをしてくれたりおすすめの店を教えてくれたりと、何から何まで本当にありがたかったです。子どもたちが寝たあとはそれぞれ
--------------	---

	れ好きに過ごすというスタイルだったので、夜はちょっと居所に迷っていました。
食事，健康管理	ホストマザーは料理上手で、パスタやグラタンなどの洋食を中心に中華やインド風のアジア料理も作ってくれました。ご飯は朝昼晩用意してくれたのが本当にありがたかったです。授業があるときは特大のランチボックスを持たせてくれましたが、これがまた絶品で一日の楽しみにしていました。冷蔵庫、パントリーは基本自由に使ってよかったので、好きなジュースやお菓子を保管しておいてファミリーと一緒に、たまにこっそり楽しんでいました。
持参してよかったもの (理由)	・折り紙 子どもたちが小さかったので大ウケしました。特に柄付きのものが気に入ったようでとんでもない量の鶴が生まれました。これで子どもたちと仲良くなれたので、事前情報で小さい子がいるようなら持っていてもいいかもしれません。 持参しなくて後悔したもの ・ちょっと厚めの上着 夏とはいえ朝晩は冷えるので、持ってきた上着がペラペラすぎて寒く感じた日もありました。長袖の服、上着を一着ずつは持って行くといいと思います。
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	夜は基本出歩かないか、出歩くとしてもホーム付近だけに努めました。移動中はたまに周囲を確認して身の安全を確保し、貴重品の分散やバッグへの注意なども意識していました。幸運なことに私が接した人はみんな親切で、身の危険を感じたときは一度もなかったです。

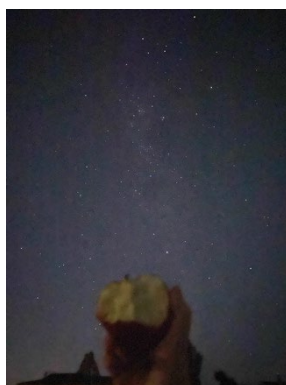
研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	17 万円	
海外旅行保険	1 万円	
研修費用	約 40 万円 0 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	1 万 5000 円	ホームステイとホテル滞在費。航空運賃

		が高騰しており、ホームステイ開始予定日から1日早くニュージーランドに着きホテルに滞在していました。
食費	約 1~2 万円	放課後にカフェに行ったりおやつを買ったりと楽しみました。値段は少し高めですが、その分ボリュームがあるので頼むときは注意が必要です。
交通費	約 3000 円	ワイカト内の区間には Bee カードというバスカードがあり、出かけるときは基本これを使っていました。学割も適応されると半分以上の値段でバスに乗り放題なのでかなり便利です。大学で手続きができるので、初日にやっておくとよりお得になります。
その他（小遣い、通信費など）	約 5 万 5000 円	私は現金を三万円分換金したのでそれを消化するためにかなり使い倒しました。ニュージーランドは屋台でもカードに対応しているので、三週間の滞在ではカードがあれば現金は数千円分で十分だと思います。
合計	約 66 万円	

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）



① レイクツアー

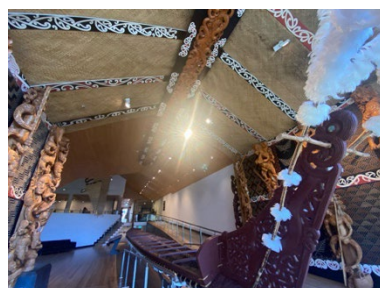
ホストファミリーの勧めで、カイヌイレイクを船でクルーズするガイドツアーに参加しました。グローワームが目当てでしたが、特に印象に残ったのは星空の美しさです。満点に広

がる天の川が本当に綺麗で、時間を忘れて空を眺めていました。ニュージーランドでは街でも星がよく見えるため、後日ルームメイトと改めて星見に行きました。



② 牧場見学

近くの牧場の見学ツアーに参加しました。羊の毛刈りショーやふれあい体験と間近でさまざまな動物を見たり触ったりでき、毛の手触りや匂いなど五感で牧場を体験できる貴重な機会となりました。待ち時間に売店で牛乳を飲んだのですが、精製前なのかかなり濃厚でコクがあり飲む手が止まらなくなりました。



そのほかにも温泉施設やラグビースタジアム、博物館などニュージーランドについてより深く知ることができる施設はたくさんあり、3週間の滞在はかなり充実したものになりました。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

この研修では英語についての力はもちろん、たくさんの経験を得ることができると思います。現地の人はとても親切で食べ物も美味しく、日本人スタッフのサポートもあるので、安心してホームステイを楽しめます。少しでも気になったらぜひ参加してみてください！